

お 知 ら せ

名古屋大学理学部物理学教室教官公募

1. 公募人員 教授 1名
2. 所属部門 宇宙物理研究室 (U研)
3. 専門分野 スペースでの宇宙物理学実験
4. (1) 着任時期 決定後できるだけ早く.
(2) 任 期 10ないし15年.
5. 提出書類 履歴書, 研究歴, 着任後の研究に対する抱負, 論文リスト, 主要論文別刷, 各2部. 推薦書 (自薦, 他薦)
6. 公募締切 1986年5月31日 (土)
7. (1) 宛先 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部 物理学教室
主任 安野 愈
(2) 公募に関する問合せ先
名古屋大学 電話番号 052-781-5111
早川幸男 (内線 2453)
8. その他 ・封筒に“宇宙物理”応募書類在中と朱書の上, 書留とすること.
・適任者のない場合は決定を保留することがあります.

スペーステレスコープによる観測計画の公募

Space Telescope Science Institute ではハッブル・スペーステレスコープ (HST) による観測計画を募集している。今回の募集では8月に打上げられるとして、87年2月から88年2月までが観測期間である。1985年10月のニューズレター (Vol. 2, No. 3) では締切が本年2月28日となっているが、最近の情報では3月31日に延びた由である。応募用紙、応募のための手引書である Call for Proposals と Proposal Instructions および6種の観測装置の構造や機能、制約を解説したハンドブックが関連機関の図書室等に既に配付されている筈なので、興味のある方はそれらを参照願いたい。10倍を越すような競争率になると予想されるので選考に当っては、期待される観測成果とその学問的意義、観測が成功するための技術的可能性の評価、HST 以外では観測できないことを示す具体的証拠、同じ観測を地上で行なう場合に達成可能な限界の評価、データ解析を完了するための方法とスケジュール (データの専有期間は1年) 等、多くの選考基準が考慮される。また目的天体の赤経・赤緯は $\pm 1''$ まで与えること、運動を伴なう太陽系天体の位置は応募者が予め計算しておく、露光時間の推定もかなり厳密に行なうことなど、HST の効率的運用をはかるために、応募用紙に記すべき項目は少なくない。応募に当りもう一

つ注意しておかねばならないのは、特権観測者 (GTO) の存在である。HST の観測装置開発に従事した科学者は GTO として、一般の公募観測者に先立ってある期間 HST で観測する特権が与えられる。GTO の観測テーマと重複した公募観測テーマは普通採用されない。そのために GTO の提案した観測計画の一覧表も The GTO Observing Program というハンドブックとして配付されている。 (中村 士)

第2回日中共同研究ワークショップ

「恒星および銀河の活動現象と観測技術」

3月17日-19の3日間、京都大学理学部宇宙物理学教室において、表記の日本学術振興会国際共同研究事業による中国科学院との日中共同研究ワークショップが開催されます。(第1回ワークショップは、1984年に北京で開催され、天文月報77巻第9号にその報告があります。) 今回のワークショップでは、恒星および銀河の活動現象を観測面からとらえ、理論的な解明をはかることをめざしています。中国からは、北京天文台・紫金山天文台・雲南天文台などから13人が参加する予定です。

引続き、20日には中国側出席者との分野別フリートーキングと、今後の日中共同研究をどのようにすすめるかについて協議を行い、22日には場所を東京天文台岡山観測所に移し、観測技術に関するインフォーマルミーティングを開く予定です。(世話人 定金晃三・山崎篤磨)

1986年 天文・天体物理若手 夏の学校

日 時: 7月29日 (火)~8月2日 (土)
場 所: 長野県飯山市瑞穂北竜湖
会場・宿舎: 文化北竜湖山荘 (TEL 02696-5-3121)
全体企画: 天文と生化学の接点 (仮題)
費 用: 1泊5000円及び懇親会費
連 絡 先: 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室U研内
天文・天体物理若手 夏の学校事務局
校 長 杉谷光司
事務局長 紀伊恒男
(TEL 052-781-5111 内線 6656)

計 報

本会元評議員 今川文彦氏は、去る1月31日、71歳で逝去されました。謹んで御冥福をお祈りするとともに、会員諸氏にお知らせ致します。